



# 学校だより

特別号



HP <http://www.cabinet-cbc.ed.jp/school/es/129/>

児童数	たんぽぽ	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
(人)	3	27	25	29	30	21	42	177

## よりよい学校をめざして～令和4年度 学校評価アンケートについて

皆様にご協力いただきました、学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

児童はタブレットPC（ギガタブ）のForms（フォームズ）で14項目の質問に回答し、保護者は、すぐーるのアンケート機能を活用して17項目の質問に回答していただきました。これまでの結果と比較するため、質問の項目は変更していません。

それぞれの回答を、「知」「徳」「体」「その他」の4項目に分け、その中で肯定的な回答\*が多かったものと、少なかったものを中心に分析し、まとめました。

\*「そう思う」「少しそう思う」を肯定的な回答、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な回答としました。

**学校教育目標：「豊かな心をもち 自ら学ぶ たくましい子供の育成」**を掲げて教育活動に取り組みました。

**知：【学習面】「自分で考え判断し 自主的に活動する子」**

### 【保護者】

知育に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
学習内容を理解している	43	60	17	2	3.2	3.0	3.1	0.2	約84%
進んで学習する	31	57	30	4	2.9	3.1	3.3	-0.2	約72%
学校行事が充実している	70	47	5	0	3.5	3.4	3.8	0.1	約96%

### 【児童】

知育に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
勉強がわかる	104	52	13	11	3.4	3.3	3.1	0.1	約87%
進んで学習する	78	55	28	18	3.1	2.9	3.3	0.2	約74%
学校行事が楽しい	134	28	7	8	3.6	3.5	3.8	0.1	約91%

※表の数字は 4 そう思う 3 少しそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない を表し、その下の数字は回答者の人数を表しています。

※質問項目によって児童のアンケート結果の総数に違いがあるのは、児童によって誤って重複してアンケートに答えてしまったり、答えなかった項目があったりしたためです。

知育に関する質問項目において、肯定的意見の割合は保護者・児童ともに同じ傾向でした。保護者も児童も同じように捉えていることが伺えます。昨年度と比較すると、若干の上昇は見られましたが、大きな変動はありませんでした。

本校の傾向として「進んで学習する」ことに課題が見られます。先生方にも同様のアンケートを行いました。やはり同じように課題として挙げる先生が多かったです。学校での児童の学習の様子を見ると、学年・クラスによる差は多少ありますが、概ね真面目に授業を受けています。特に学年が上がるほどその傾向が顕著で、学校での学習の積み重ねにより、よい学習習慣を少しずつ身に付けていくのではないかと思います。また、花見川小の長所として、お互いに自然と教え

合う姿が見られます。これは「友達を大切にする」という徳育の部分かもしれませんが、男女分け隔てなく助け合う気持ち、教え合いというよい学習環境を生み出しているといえます。しかし課題として、自分の意見を積極的に述べたり、わからない問題を粘り強く解こうとしたりする児童が、どの学年ももっと増えてほしいと感じられます。

学校としては花見川小の長所を生かし、学習において話し合い活動（特に自分の意見を言いやすい少数での話し合い活動）を充実させ、自分の意見・考えを積極的に話しやすくする場を設けたり、自分の力で粘り強く課題を解決できるよう、個に応じた支援のあり方（声かけ、ヒントカード、振り返りできる掲示物、7年生によるサポート等）を追究したりしていきます。

また、宿題を必ずやってくる児童とそうでない児童とで二極化が見られます。おそらくそういったことが、保護者のアンケート結果にも反映されているのではないかと考えられます。本校ではほぼ毎日のように宿題を出しています。しかし、宿題だけをやっていては、学習の絶対量として足りているとは言えません。以前配付した「家庭学習のすすめ」で書かれている通り、**目安の家庭学習時間は、学年×10分+10分**です（4年生なら4×10分+10分で50分）。宿題をきちんとやるということを前提として、宿題だけでは足りない時間については、自主学習という形で何かしらの課題を進められるよう、ご家庭での協力をお願いします。

学校行事においては、今年度もコロナ禍ではありましたが、感染拡大防止のため規模の縮小等があったにせよ、コロナ前と変わらないくらい行事を実施することができました。学校行事の充実に関する項目は、肯定的意見が保護者・児童ともにかなり高い数字といえます。ただ、その行事も学年によるばらつきが多少見られました。保護者の自由記述の意見でも、行事の多い上学年の保護者からは、「こんなにたくさん行事があったんだね。」という意見が聞かれ、比較的行事の少ない下学年の保護者からは、「少ないように感じる。」という意見をいただきました。次年度に向けては、**下学年の行事がより充実できるよう取り組んでいきます。**

## 徳：【生活面】「友達のよさがわかり 思いやりのある子」

### 【保護者】

徳育に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
学校は楽しい	87	30	5	0	3.7	3.6	3.2	0.1	約96%
あいさつができる	60	48	13	1	3.4	3.3	3.8	0.1	約88%
生活のきまりを守っている	68	46	8	0	3.5	3.4	3.4	0.1	約93%
決めたことはやり抜く	41	66	14	1	3.2	3.1	3.4	0.1	約88%
友達を考え行動する	62	53	7	0	3.5	3.4	3.7	0.1	約94%
友達と仲良く生活している	81	36	5	0	3.6	3.6	3.8	0	約96%

### 【児童】

徳育に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
学校は楽しい	131	27	11	26	3.4	3.4	3.2	0	約81%
あいさつができる	115	40	20	5	3.5	3.4	3.8	0.1	約86%
学校のきまりを守っている	93	68	7	9	3.4	3.3	3.4	0.1	約91%
決めたことはやり抜く	88	61	17	12	3.3	3.1	3.4	0.2	約84%
友達を考え行動する	97	61	9	11	3.4	3.2	3.7	0.2	約89%
仲良い友達と居心地の良いクラス	126	30	10	14	3.5	3.4	3.8	0.1	約87%

徳育に関する項目において、保護者の回答では、どの項目も昨年度と比較してほぼ同等の数字といえます。児童の回答では、若干昨年度より数字が上昇していますが、そんなに大きな変動はないといえます。

「学校は楽しい」という項目では、81%（そのうち67%がそう思うに回答）が肯定的意見でした。決して低い数字ではありませんが、気になるのが「楽しくない」と答えた残りの19%の児童です。割合でいえば、およそ5人に一人が否定的な回答ということになります。児童によって「楽しくない」理由は様々だと思います。勉強が難しい、運動が苦手、友達とうまく遊べない、友達とケンカした、人がたくさんいるところが苦手等々、このような悩みは、多かれ少なかれ誰も持っているものであり、それとうまく折り合いをつけて人は生きています。また、このような悩みと折り合いをつける経験も、人生にとってとても大切なことです。とはいえ、児童みんなが「学校が楽しい」と元気に登校する、これは私

たち教師にとって、そして保護者の皆様にとっても願いではないでしょうか。このような子を一人でも多くするために学校として何ができるのか、毎日の授業、行事、一人一人の子どもの見取り等、様々な面で魅力ある学校にしていけるよう努力していきます。保護者の皆様も、お子さんが悩みをもったり、うまくいかないことを落ち込んだりしたときに、これは人生にとって大切な経験だということを伝え、お子さんがそうした悩みに前向きに向き合い、折り合いをつけていけるよう温かく励ましてあげてください。

「あいさつができる」は、比較的高い数字であるといえます。しかし、花見川小では「挨拶・返事・礼儀」に重点を置いて教育していますので、この数字に満足することなく、さらに多くの児童が『挨拶の言葉が自然と出てくる』『子供たち同士でも公平・平等に挨拶を交わす』ことを目指し、学校全体で今後も指導していきます。

「学校の決まりを守る」は、保護者・児童ともに高い数字となりました。今後も継続して指導していきます。

「決めたことはやり抜く」は、昨年度、肯定的回答が低く課題となりました。しかし、今年度は改善が見られました（特に児童）。物事に粘り強く取り組むことの大切さを理解し実践できるよう、今後も励ましていきます。

「友達を考え行動する」「仲良い友達と居心地の良いクラス」は、どちらも高い数字でした。しかし、児童の回答の中には、否定的な回答も10%以上見られました。前述の「学校は楽しい」同様、この否定的な回答をした子供たちに目を向け、どのような悩み・困り感を持っているのか、一人ひとりよく見ていく必要があります。友達関係の悩みは、大人が介入しにくいものです。また、全ての友達と仲良くできるのかといえば、それがどんなに困難かは、私たち大人のほうがよく知っています。ただ一つ言えることは、「友達のことを考えて行動する」ことを多くの子ができるようになれば、「仲良い友達と居心地の良いクラス」に繋がっていきます。道徳をはじめとした学校生活全般において、友達のことを考える・思いやりを持って接することを大切にしていけるよう指導を続けていきます。また、子供たち自身、友達関係の悩みは誰しも経験するものと前向きに捉え、友達とうまく折り合いをつけることを学んでいけるよう、保護者の皆様も前向きな励まし・ご助言をお願いいたします。

### 体：【運動面】「心身ともに健康で たくましい子」

#### 【保護者】

体育・安全に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
進んで運動し、健康である	59	45	16	2	3.3	3.1	3.6	0.2	約85%
安全確保・事故防止に配慮している	69	46	6	1	3.5	3.5	3.5	0	約94%
きれいで落ち着いた環境である	84	35	3	0	3.7	3.6	3.7	0.1	約98%

#### 【児童】

体育・安全に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
進んで運動する	106	37	18	18	3.3	3.1	3.6	0.2	約80%
危ない時の対処がわかる	139	31	1	8	3.7	3.5	3.5	0.2	約95%
きれいで落ち着いている	117	40	14	8	3.5	3.2	3.7	0.3	約88%

「進んで運動する」は、コロナ禍による制限が解除された影響もあったのか、保護者・児童ともに改善が見られました。ただ、保護者の自由記述では「運動を進んでしない子なので、体を動かす機会を多く作ってほしい。」という意見もいくつか見られました。今年度、体育委員会が中心となり、体力テストで記録を向上させる取組や、鉄棒週間、長縄大会等を行ってきました。来年度、さらに運動する機会を増やしていけるよう検討していきます。また、「運動会を元に戻してほしい。」という保護者の記述もありました。完全に元に戻すことが難しい部分もありますが、検討していく予定です。

「危ない時の対処の仕方がわかる」は、本校が力を入れてきた部分でもあります。交通安全教室や避難訓練、防犯訓練などでは、警察署や消防署の方に来ていただき話を聞く機会も設けました。今後もそのような機会を設け、子供の安全に対する意識を高めていきます。また、保護者の自由記述欄に「門扉が開いたままになっている」というご意見もいただきました。これは学校として反省すべき点で、学校では児童の登校後、昇降口の扉を閉め、西門・東門の通用門は遅刻する児童のため少しだけ開けています。しかし、担当職員の不在等で閉め忘れてしまったことがあったかもしれません。また、児童によってはそのまま開けっ放しにしてしまったり、業者や地域の方が出入りする際に閉め忘れてしまったりしてしまうということもあります。職員全体で意識的に門を確認し、開いていればすぐ閉めるようにしていきます。

「きれいで落ち着いている」は、保護者から多くの肯定的意見をいただきました。子供の意見も前回より肯定的意見が増えました。清掃時、黙働を呼びかけ、子供たち自身も清掃を頑張ってきた成果かと思われます。ただ保護者の自由記述では「業者による清掃をいれてほしい。」という意見も複数いただきました。例えばトイレ清掃は業者が薬剤を使って清掃

をするとかなりきれいになります。PTA理事会でもこの意見を紹介させていただき、来年度は業者による清掃もPTAの協力をいただきながら行っていく予定です。

## その他

### 【保護者】

その他に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
先生は話を聞いてくれる	65	41	12	4	3.4	3.4	3.7	0	約87%
要望への対応	64	53	5	0	3.5	3.5	3.6	0	約96%
保護者への情報提供	71	46	5	0	3.5	3.4	3.6	0.1	約96%
教育活動満足度	67	46	9	0	3.5	3.5	3.6	0	約93%

### 【児童】

その他に関する質問項目	4	3	2	1	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R4とR3の 平均値の差	肯定的意見（そう思う、 少しそう思う）の割合
先生は話を聞いてくれる	152	22	7	22	3.5	3.6	3.7	-0.1	約86%

「先生は話を聞いてくれる」は、児童の回答では肯定的意見が多かったとはいえ、そうでない意見も一定数あり、年々平均値は低下しています。これは大いに反省していかなければいけません。職員全体で向上できるよう、来年度の課題としていきます。

「要望への対応」「保護者への情報提供」は、保護者のみの質問項目でしたが、いずれも肯定的意見が高い割合でした。しかし、自由記述欄に「学校生活の様子が見えにくい。」という意見が複数見られました。学校での生活の様子がさらにわかるようにしていくため、次年度は行事だけでなく、様々な場面で写真販売を多く行っていく予定です。これまでは校外学習で写真販売を行ってきましたが、行先によっては写真撮影が不可のため、販売は特定の学年だけでした。今後はそれをさらに充実させるだけでなく、学校行事や日常生活の様子も撮影していく予定です。すでに来年度卒業アルバムを作成する写真業者にも同意を得ています。また、コロナによる制限も緩和されてきていますので、様々な行事で保護者が来る機会を増やしたり、保護者にも学習活動の支援（家庭科の裁縫・町探検の支援等）に入ってもらえるような働きかけを行ったりしていこうと考えています。「気軽に学校に行ける」「学習の支援にも入る」そんな花見川小を目指していきます。

### 【学校評価アンケートの集計を終えて】

徐々に制限が緩和されてきたとはいえ、この3年間は感染対策をしながらの教育活動でした。学校生活も激変しました。今年度は、そんな激変した生活に「慣れてきた」といえる年だったといえます。感染症で登校できない児童や学級閉鎖のクラスでは、オンラインでの授業も行いました。オンライン学習でも、子供たちは臆することなく、楽しみながらギガタブを使いこなす姿に、時代の変化を感じました。

制限が緩和された影響もあってか、多くの質問項目で昨年度より肯定的な意見が増えました。特に「(学校が)楽しい」と肯定的に答える児童がたくさんいることはうれしいことです。ただ、我々はそうでなかった児童にも目を向けていかなければなりません。どうすればより多くの子が「学校が楽しい」と思えるか、様々なご意見を聞きながら、知恵を絞っていくつもりです。

これからも、保護者・地域・学校の連携を大切に、学校教育目標：豊かな心をもち 自ら学ぶ たくましい子供の育成をめざした教育活動を推進してまいります。

今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。